

◆男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(令和3年度第3回)

議事録(案)

2021年7月5日(火)開催

時間	10:30~11:40		場所	Zoom ウェブ会議	
浅田 委員長	○	小林 委員	○	藤井 委員	○
北田 委員	○	片岡 委員	○	平永 委員	○
藤原 委員	×	熊野 委員	○	清木 委員	○
藤澤 委員	×	澤田 委員	○	中本 委員	○
亀村 委員	○	佐藤 委員	×	尾川 委員	○
高原 オブザーバー	○	山口 オブザーバー	×		

○：出席 ×：欠席 △：未定

議事録担当：熊野(01-2)→清木(02-1)→片岡(02-2)→平永(02-3)→中本(02-4)→藤澤→(03-1)→藤原(03-02)→尾川(03-03)

議事録担当：尾川

【審議事項】

1. 山形大会サロン・土・カフェ対応

[1] 申込状況の確認

現在 29 名（内 7 名委員、元関係者多数）

- ・ 想定人数の申込があったため、これ以上の参加募集の声かけはしない。
- ・ ブレイクアウトルーム（BOR）は 5 部屋とする。ただし当日の状況によっては増設する。
- ・ 申込者の 73%がアンコンシャスバイアスを選択している。よって、アンコンシャスバイアス 4 部屋、コロナ 1 部屋とする。

[2] プログラムの確認

13:00	挨拶	三村会長
13:05	ダイバーシティ委員会、減免制度の 10 年総括	浅田委員長
13:10-13:30	講演	関西大学 飛田哲男先生
13:30-14:25	サロン・土・カフェW	
14:30	閉会挨拶	小林委員

[3] Zoom ID

取得済み（配布資料：サロン・土・カフェ W20210705.docx 参照）

三村会長へは浅田委員長、飛田先生へは北田委員が、事前に連絡する。

参加者への連絡は、今週と当日リマインドの 2 回とし、熊野委員が一斉配信する。

[4] 当日役割の確認

司会	北田委員	
Zoom 操作	中井先生（学会担当）、藤井委員、熊野委員	
BOR 操作	浅田委員長、熊野委員	
BOR の ファシリテーター	コロナ	北田委員
	アンコンシャスバイアス	平永委員、澤田委員、亀村委員、尾川委員
	増設時対応	清木委員

※飛田先生の略歴は、北田委員が飛田先生に事前に直接確認する。

※ディスカッションの進め方については北田委員が紹介をする。その際に、2セット目に希望するテーマを確認し、参加者の意向によって部屋数を調整する。

※1セット目は事前に割振り、2セット目はその場で希望のテーマの部屋へ移動する。

※ファシリテーターのテーマは固定とするが、参加者の希望によっては変わる可能性もある。

※ファシリテーターは、簡単な自己紹介をしてトークを進める。20分のディスカッションの内容を総括の場にて2分程度にまとめて報告する。

※増設部屋（清木委員の担当）のテーマは、参加者の希望により決める。

【報告事項】

2. 定款の変更に関するダイバーシティ減免制度

藤井委員より、現状の報告と7月の理事会に向けて整理した資料および細則（案）に関する説明があった。

- ・理事会にて「学生会員」の廃止が承認されたことを受け、新制度を2022年4月1日から施行する方向で進めている。
- ・2022年1月には新システムでの会費の請求書が送付される。その段階で「学生会員」は「正会員」として請求されるため事前の周知が必要である。研究発表会の本部支部連絡協議会で周知する。
- ・今後発生する事務手続きを考慮して細則を整備する。その際、システム上の問題と移行手続きに伴う作業を明確にするためにスケジュール表を作成した（審議 04_学生会員廃止に伴う今後のスケジュール案 20210705 改.docx 参照）。
- ・7月の理事会にて、会費減免の「細則」を作成することを提案し、これまでの減免制度と新精度について整理した情報、細則（案）を提示する。また、細則の第2条に該当することを証明する提出書類を義務づけることおよびその提出書類に関する意見を貰う。

細則（案）に関して挙げた議論内容を以下に示す。

- ・会費種別から「学生会員」を無くしたのに、全国大会申込での「学生申込」や講習会での「学生割引」はそのままの名称で使用し続けるのか？「学生」を消して、「正会員（若手）」などに変更するなど用語の統一が必要である。
- ・第2条③については、法律を踏まえてルールを決める必要がある。例えば、介護休業は1人の介護者に対して最大93日取得でき、3分割まで可能。1回で93日取得する人もいれば、1回31日を3回、複数年に分けて取得する人もいる。育児休業についても同様で、男性の場合は1カ月～3か月と女性に比べて短い傾向にある。各休業取得日を〇カ月以上とするなど、検討する必要がある。
- ・減免処置を知らないために、正会員の請求書が届いたことで学会を退会する恐れがある。
- ・申請に必要な証明書類を明確にし、チェックリストを作って事務作業の負担を減らす。
- ・証明書類は個人情報である。事務局の対応能力を確認しておく必要がある。
- ・理事会の意見を踏まえて、全国大会後に細則（案）の詳細を詰める作業に取り掛かる。

3. 次回開催日の確認： 2021年〇月〇日

2, 3か月後実施予定。後日メールで調整する。

以上